

宜野湾ガス女子初制覇

県一般ハンドボール

ハンドボールの第54回県一般選手権最終日は18日、ANAアリーナ浦添で各部の決勝が行われ、女子1部は宜野湾ガスクラブが29-19でレキオクラブに勝利し初制覇した。男子1部は興南BICが25-18でH.C. FURIMUNに勝ち、頂点に立った。男子2部は興志川H.C.、女子2部はMLN沖縄が優勝した。マスターズ

ズの部は興南OB、マスターズ50sの部は沖縄教員が制した。一般の大会は新型コロナウイルスの影響で1年間中止され、選手権は2年ぶりの開催となった。男女1部の上位チームは九州一般選手権(5月・熊本)への出場権を得た。

男子はB-C連覇



女子1部決勝 後半、厳しいマークをかわし、シュートを決める宜野湾ガスクラブの菅真貴和子
18日、ANAアリーナ浦添(杉元撮影)

堅守速攻で悲願かなえる 宜野湾ガス

主将の仲宗根由香利が宙に舞う。創部15年の宜野湾ガスクラブ。悲願の1部優勝にチームは胸を分かち合った。立ち上げメンバーの仲宗根は「入れ替わりもありながら、昨年に力のある若手も入って、ようやく優勝できた」とメンバーの努力をたたえた。

勝利は堅守速攻だった。1点リードの前半の序盤、仲間のパスカットで走り出した菅真貴和子がロングパスを敵陣深くでつかみ、さまざまシュート態勢に。体をねじってディフェンスをかわしゴールを決めきった。1点をせめぎ合う状況から初めて2点差にし、このリードを守りながら後半もDFラインからの縦パス一本で何度もゴールをこじ開け、勝利につなげた。

この日チームトップの13得点を挙げた菅真は、日本リーグの大阪ラヴィッツを昨年退団し、新加入した。同じコザ出身が多く、入団を決めたという。1部に参入して5年。菅真ら3人の若手加入で厚みが増した攻撃を發揮した。

菅真は「(チームは)雰囲気の浮き沈みがまた課題。切り替えの早さを意識できたらもっと強くなれる」と意気込む。仲宗根は「できるなら上を目指す。九州でも勝ち上がっていききたい」とさらなる成長を誓った。

(謝花史哲)

ハイライト

【男子】	▽1部連決勝 H.C.F.U 27 20 那覇西ク R.I.M.U.N	▽同決勝	興南B I 25 1312 108 18 C 25 1312 108 18 U.N.I.M.F	▽2部1回戦 T.Y.F.C 30 18	▽同決勝 興志川H C 26 25 T.Y.F.C 24 23 A.V.A.T A.R. 名桜大 30 15 N.O.B. チ △馬 24 18 ヨコガク 琉球大 29 25 △満ク、H 2 + 26 22 V.A.N.O.S. あらかき園科 不戦勝 沖電H C、Elements 34 18 名護	▽同準決勝	興志川H C 32 19 沖国大 名桜大 22 18 チーム馬 琉球大 31 17 H 2 + Elements 24 20 あらかき園 nts
【女子】	▽1部決勝 興志川H C 29 27 名桜大 興志川H C 29 27 名桜大 Elements 20 19 琉球大	▽同準決勝 興志川H C 29 27 名桜大 Elements 20 19 琉球大	▽2部連決勝 M.N.L.沖縄 23 10 沖国大 琉球大 29 8 名桜大	▽同決勝 MLN沖縄 棄権 琉球大 【マスターズの部連決勝】 糸満OB 21 11 青空 興南OB 23 7 天外天	▽同3位決定戦 天外天 20 16 青空	▽同決勝 興南OB 17 6 11 106 16 糸満OB 【マスターズ50sの部決勝リ 乙 沖縄教員 17 14 コザクOB 沖縄教員 16 15 チーム46	▽1部優勝の興南B I C 1部優勝の興南B I C



男子1部決勝 後半、ジャンプシュートを放つ
興南B I Cの宮城護

女子1部決勝 後半、ジャンプシュートを放つ
興南B I Cの宮城護

○久しぶりの公式戦を心から楽しみながら興南B I Cが連覇を果たした。主将の宮城護は「大会は昨年の2月以来。コロナで練習もまともにできなかった。久しぶりのゲームで勝利できて良かった」と笑った。立ち上がりは動きが硬く開始12分ごろまで2-3と点が伸びない。堅守からの攻めを狙うが、逆に速攻を受ける。ここで昨年加入のG.K.宮里泰生が1対1の攻撃を阻止。「うおっしや」とほえ、チームを鼓舞した。雰囲気は徐々に向上し、前半で4点をリード。後半も「声を出していこう」と互いに励まし合い、好プレーにはみんなで喜んで、流れを渡さなかった。宮城は「県代表として九州を突破し、念願のジャパオープン出場をつかみたい」と目標を語った。